

【巻頭言】

# 古田秋太郎先生 退職記念号に寄せて

中京大学経営学部長 リチャード・ハリス

古田先生は、1943年3月6日に名古屋にお生まれになり、立教大学大学院経済学研究科博士課程を修了後、同研究科で助手を2年間お勤めされたのち、1975年4月に中京大学に着任されました。爾来、今日まで37年間の長きにわたり、中京大学の教育・研究・行政においてお仕事をされてきました。

古田先生の研究分野は、商学部時代の貿易論・多国籍企業論から、経営学部に所属されて国際経営・国際ビジネス戦略へと展開されました。本号最後のページに掲げた古田先生の業績表にありますように、1992年に経営学部開設以来、45篇の研究論文を、経営学部、企業研究所、ビジネスイノベーション研究科の各機関誌に発表されました。そして、著書は単・共著計9篇出版されました。とくに、日本企業のグローバル化のなかで、実態調査を通じて追求された「経営の現地化」研究は、後進研究者に道を示すばかりでなく、海外事業展開中の実務家にとっても大いに参考になるものと評価されるであります。

古田先生は、経営学部設立当初より実験実習費で独自の課外教育活動を提案され、2年間の経営学部長職をはさんで実験実習費の運営に長年携わっていただきました。1年～2年次1泊2日の新入生オリエンテーションと資格対策講座、3年次工場見学、4年次最終学年研究成果発表会とフェアウェルパーティ等々、いろいろ計画・実行のご努力いただきました。爾来、20年経て今日、新入生オリエンテーションは、ますます意義深く継続・実行されています。小職は、経営学部設立以来、このような課外活動を古田先生とともに実践してきたわけですが、今では、蓼科セミナーハウスでの新入生オリエンテーションや名古屋観光ホテル等での研究成果発表会が、懐かしく思いだされるところです。

さらに、古田先生は、ビジネスイノベーション研究科長としても、中小企業診断士コース開設に力を尽くされました。同研究科の発展を願ってのご努力であったと理解されるところです。また、中京大学エクステンションセンター長としても、オープンカレッジと資格対策講座の運営に尽力されました。学外では国際ビジネス研究会中部部会を立ち上げられました。また、先生のご研究によって得られた知見をもって、名古屋商工会議所等での講演や名古屋経産局の各種調査・検討委員会でご活躍されました。

このように、古田先生の中京大学での長年のご活躍に敬意を表するとともに、定年退職後もますますお元気でご活躍くださることを祈念いたします。

最後に個人的なことになりますが、私が1980年に初めて中京大学にお世話になってから、古田先生からは数々のご親切やご指導を頂き本当に助けられました。私と私の友人にとっても古田秋太郎先生と同じ職場で働いた貴重な思い出は、心より誇りに思っています。有り難う御座いました。